

令和8年度 学校経営方針

伊賀市立友生小学校

1 経営方針(基本的な考え方)

○子どもたちが、なかまとともに主体的に学び、笑顔があふれる学校づくりをめざします。

学校は、子どもたちが安心して学べる場であること、そして互いに認め合い、支え合い、高め合うことによって、なかまとともに達成感を共有できる場であることが大切だと考えます。子どもたちが安心して自分の意見を述べ、なかまとともに考え、自分の考えを深めたり、なかまの多様な考えに新たな気づきを発見したりする授業とおして、一人ひとりが主体的に自己を発揮して学びに向かうことができる、豊かな学びの場となる学校にしていきます。

○教職員が協働して学校づくりに努めます。

充実した教育を行うために、教職員一人ひとりの持ち味や専門性、主体性や創造性を発揮するとともに、常に「チーム友生」を大切に、互いに高め合い、つながり合う教職員集団をめざします。また、学校・教職員が担う業務の適正化や学校における働き方改革の実効性の向上、勤務環境の整備などに取り組み、教職員が安心して本務に集中し、子どもたちに向き合うことのできる環境を創ります。

○地域とともにある学校づくりをめざします。

学校は、子どもたちが育つ地域コミュニティーの一つであり、家庭や地域社会と連携しながら互いに高め合える関係を築くことが求められます。地域の教育力を有効に活用するとともに、情報公開や関係者評価を積極的に推し進め、地域とともにある学校づくりに取り組みます。また、子どもたちが地域に学び、多くの大人たちから見守られ大切にされていることに気づくことで自己肯定感を高め、この地域、この学校で学ぶことへの自信と誇りにつながると考えます。子どもたちが地域の人々と豊かにつながり、学ぶことのできる環境づくりに務めます。

2 教育目標

伝え合い 学び合い ともに生きる子どもの育成

3 めざす子ども像

- 伝え合い、認め合い、主体的に学ぶ子
- 自分も、「なかま」も大切にする子
- 目標に向かって自ら行動する子

4 具体的な取組

(1) 学ぶ楽しさとわかる授業の創造【確かな学力の育成】

- ・ 子どもたちが自らの考えを持って伝え合い、主体的に学ぶ授業づくりに取り組みます。
…主体的な学びにつながる「めあて」・「伝え合い」・「振り返り」、「子どもが授業で活躍するための『友生小ルール』」を活かした授業展開、自ら定めた目標に向け必要な学習方法を決定し、内容等を振り返りながら改善を行う自立した学習、研究授業による学び合い。
- ・ 学習に対する構えを大切にします。
…チャイムを意識した行動、学習用具の準備、座る姿勢、挨拶・返事・「聴き方5か条、話し方5か条」など授業に集中できる学習環境。
- ・ 確かな学力の向上をめざし、基礎的・基本的な知識・技能の着実な定着を図ります。
…習熟度別少人数指導、個別指導、ICT 教育の充実、家庭学習の指導と評価。

- ・ 学力調査等を活かした授業改善を進めます。
…「みえ学Viva セット」や「ワークシート」の活用、学力調査結果等の分析、分析に基づく授業改善。
- ・ 生活科や総合的な学習の時間を充実し、問題解決的な活動が発展的に繰り返されていく「探求的な学び」への態度を育成します。
…自ら課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現できる学習の実践、物事の本質を探って見極めようとする学習意欲の育成。
- ・ 英語教育のさらなる充実に努めます。
…聞く、読む、話す、書く活動をとおして積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成。
- ・ 道徳教育を充実し、豊かな人間性を育みます。…ねらいを明確にし、自分との関わりを大事にした授業実践。
- ・ 想像力を育み、感性を磨き、表現力等を高め、多くの知識を習得するとともに、コミュニケーション能力の基礎を築くために、読書力の向上に取り組みます。
…朝読、異学年交流を活かした読み聞かせの効果的な活用、子ども新聞等の活用、ビブリオバトルの取り組み、読書環境の整備。
- ・ 家庭学習の内容や学習方法を見直し、自学自習の力をつけるために、家庭と連携した指導に取り組みます。
…自学自習の力をつけるための宿題の内容、示し方、評価等の取組、家庭への働きかけ。
- ・ スマートフォン、ゲームやSNS等の使用時間(スクリーンタイム)と学力調査結果等について保護者へ啓発を行うとともに、家庭での時間を計画的に過ごせるよう、家庭と連携した指導に取り組みます。
…実態に基づく提起と改善。
- ・ 保育所(園)・幼稚園との連携を図り、就学前からの連続した学びづくりを進めます。
…スタートカリキュラムをもとにした授業や活動の参観、課題の共有と解決に向けた連携した取組。

(2) 生命・人権の尊重と豊かな人間性の育成【人権の尊重】

- ・ 子どもの生活実態やその背景にあるものを把握して課題を明らかにし、学力保障・進路保障に取り組みます。
…とらえる手立てを教育活動の中で具体的に持つ、職員間で共有(ケース会議等)。
- ・ 自分が受け入れられているという実感を持ち、自分のよさや可能性を認識できる教育活動を進めます。
…自らの向上に向け努力して達成感を得たり、人の役に立ったりすることや、自分と向き合ったり、互いに認め合ったりする経験を重ねる取組、自己肯定感の高揚。
- ・ からかいやいじめなどの差別意識に気づき、あらゆる他者をかけがえのない価値のある存在として尊重することができる人権意識を育みます。
…差別を見抜く力を育てる、ちがいを肯定的に受け止めることのできる子どもを育てる、なかまづくりの取組。
- ・ 個別的な人権問題について理解を深め、解決に向けた行動に必要な態度や技能を身につける学習を進めます。
…子どもの実態から出発した人権・部落問題学習の推進。
- ・ 障がいのある人や外国につながる人に対する差別や偏見をなくし、支援や配慮を必要とする児童への正しい理解と認識、態度を育みます。
…差別事象に学ぶ、三重県手話言語条例、多文化交流会、保護者への啓発。
- ・ 教職員自ら差別の現実には深く学び、部落差別をはじめとするあらゆる差別のない社会の実現に向け取り組みます。
…差別解消三法や伊賀市・三重県の人権尊重の取組、研修会の充実、幼保小中連携、地域における啓発活動。
- ・ 中学校区での小中連携を深め、地域の人権課題を明らかにするとともに、9年間を見通した人権教育カリキュラムの構築に努めます。…緑ヶ丘中学校区人権・同和教育推進協議会等での連携強化。

(3) 基本的な生活習慣の育成とキャリア教育の推進【キャリア教育の推進】

- ・ 気持ちのよい挨拶や返事をはじめ、清掃活動、言葉づかい、整理・整頓等の基本的な生活習慣を身につける取組を進めます。…挨拶運動、清掃活動、花いっぱい活動、靴・スリッパを整える習慣、児童会活動での取組。
- ・ 施設・職場見学や働く人の話を聴くことにより、望ましい労働観・職業観を育み、人としての生き方について考える学習に取り組めます。…地域学習、出あい学習、地元企業等との連携。
- ・ 将来への展望(なりたい自分)をもち、それにつながる今を大切に努力する意欲や態度を育む学習を進めます。…ゲストティーチャーに学ぶ、キャリアパスポートの活用、キャリア・カウンセリング。

(4) 誰もが安心して学べる教育の推進

- ・ 特別な支援を必要とする子どもたち、外国につながる子どもたち、不登校の状況にある子どもたちなど、一人ひとりの能力・可能性を最大限に伸ばすことができるよう、誰もが安心して学べる環境を整え、適切な支援・指導に努めます。
…「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」「個別ファイル」の作成と活用、関係機関との効果的な連携。
- ・ 教育活動全体を通していじめ防止の取組を進め、未然防止・早期発見・早期解決に取り組めます。
…人権・道徳教育の充実、Q-U調査の活用、家庭・地域との連携、関係機関との効果的な連携、学校いじめ防止基本方針。

(5) 健康・食育・安全教育(指導)の充実

- ・ 進んで運動に親しむ態度を養い、体力の向上に取り組めます。…「新体力テスト」の実施・活用。
- ・ 自分の体や健康に関心をもち、自己管理に努める態度を育みます。…「生活リズムチェック」の実施・活用。
- ・ 給食や食に関する指導を通して、望ましい食習慣を身につける取組を進めます。
…食に関する指導の充実、食べることの重要性に着目した授業、学校給食や野菜作りを学習に活かす。
- ・ 安全教育(指導)を徹底し、事故を未然に防ぎ、健康を守るための取組を進めます。…危機管理意識の向上。
- ・ 「自分の命は自分で守る」という視点を基本においた体験的な防災教育(学習)を進めます。
…自ら考え行動できる防災訓練・防犯訓練の実施、「防災ノート」の活用。

(6) 地域とともにある学校づくり・組織として信頼される学校づくり

- ・ 学校経営方針や学校マニフェストを通じて保護者、地域に活動方針を示すとともに、子どもたちの活動の様子を具体的かつタイムリーに発信して教育活動への理解と協力を求め、連携して取り組めます。
…学校(学年・学級)通信やホームページ、学級・地区懇談会、育友会行事・研修会・講演会。
- ・ 学校運営協議会制度を学校運営に活かし学校関係者評価を実施するとともに、保護者アンケートを実施して保護者からの評価を教育活動に活かします。…学校関係者評価、保護者アンケート。
- ・ 信頼される教職員であるために全職員が服務規律を遵守し、不祥事の根絶に努めます。
…コンプライアンス・ミーティング、職員研修。

(7) 学校における働き方改革の推進

- ・ 学校・教職員が担う業務の適正化や学校における働き方改革の実効性の向上、勤務環境の整備などに取り組む、教職員一人ひとりが健康で活力と向上心を持って、安心して教育活動に専念できる職場環境をつくります。また、総勤務時間の縮減に努め、子どもと向き合う時間や教材研究の時間を確保します。
…水曜日を定時退校(最終 18:00)とする伊賀市全小中学校の取組の徹底、1ヶ月あたりの時間外労働が30時間以内となるように努める、年休取得日数年間15日以上、60分以内に会議を終了する、機器を効果的に活用し保護者との連絡、情報共有を効率的・効果的に行う。